

ISSEIKAI



社会福祉法人一誠会

特集

Green Days 129th

東京都初
社会福祉連携推進法人設立から2年
：地域福祉の新たな挑戦



ロコと楽しい仲間たち ロコの部屋

新年挨拶

～動物たちが届ける癒しと笑顔のある暮らし～

あけましておめでとうございます。
一誠会には、ミニチュアダックスフンドの「ロコ」をはじめ、黒猫の「クロ」など、多くの動物たちも暮らしています。
これらの動物たちは、ご利用者の日常に癒しと楽しみを届けています。他の老人ホームにはない、一誠会ならではの温かい雰囲気、笑顔があふれる空間が広がっています。



動物との触れ合いは、高齢者のストレス軽減や孤独感の緩和、心身の活性化に効果があります

Event イベントスケジュール (2月・3月の一誠会からのお知らせ)

◆行事の開催予定 ※各事業所から、別途、詳細をご案内いたします。

2月 節分

3月 ひな祭り デイサービス・グループホーム初音の杜 第二偕楽園ホーム 偕楽園ホーム

令和7年3月1日(土) 第2回 社会福祉連携推進法人一五戸共栄会 実践研究発表会

令和7年3月8日(土) 芋煮会 第二偕楽園ホーム 場所:玄関前

◆地域交流会(万講座)の開催◆

日時	令和7年2月1日(土)	令和7年3月1日(土)
内容	防犯について	第2回 社会福祉連携推進法人一五戸共栄会 実践研究発表会
講師	元警察官 伊藤満雄氏	
場所	偕楽園ホーム	偕楽園ホーム
時間	14時00分～15時30分	14時00分～15時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

◆地域福祉研修の開催◆

日時	令和7年2月14日(金)
内容	ユマニチュード 認知症の高齢者が安心できる認知症ケア
講師	日野市立病院 認知症看護特定認定看護師 小林多紀氏
場所	偕楽園ホーム
時間	16時00分～17時30分

本会主催の行事や講座については、新型コロナウイルスの影響拡大に鑑み、開催を延期や中止させていただくことがあります。また、お申込みいただいた皆様には、延期後日程が決定次第、別途ご案内させていただきます。なお、感染症予防対策としてご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。



一誠会 WEB



Facebook



(旧)Twitter



Instagram



YouTube



アメイバーブログ



採用情報



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



詳しくはこちら



特集

東京都初

社会福祉連携推進法人設立から2年：地域福祉の新たな挑戦

「3法人の連携で収益7%向上！経営基盤強化とサービス向上への挑戦」

令和4年11月4日、一誠会は岐阜県中津川市の社会福祉法人五常会、北海道函館市の社会福祉法人戸井福祉会と連携し、一誠会を法人本部とする東京都内初、全国では5例目となる社会福祉連携推進法人（以下「連携推進法人」）を設立しました。それから2年が経過しました。



厚生労働省の社会福祉推進事業として行われた「社会福祉連携推進シンポジウム」に、連携推進法人の会長付き特別補佐兼スーパーバイザーで、一誠会の水野常務理事（写真右から2人目）がパネラーとして登壇しました

社会福祉 連携推進法人とは

連携推進法人は、複数の社会福祉法人が協力して地域の福祉サービスを向上させる仕組みです。効率的な運営や人材育成を通じて、高齢者や障がい者などへの支援を強化することを目的としています。

令和6年9月30日現在、全国で22法人が設立されています。

サービス活動 収益が約7%上昇

連携による成果は徐々に表れつつあり、災害時の相互応援や中間管理職育成研修などの人材育成が進められています。

特に、事務局長が各法人を巡回し、経営支援の一環として実施している経営分析が功を奏し、3法人のサービス活動収益合計はこの2年間で約7%上昇しました。こうした成果により、連携推進法人のメリットが実感されています。

活動の情報発信



岐阜・五常会の理事会において、経営分析結果などを報告する平出法人事務局長（写真中央）

浅川社会・援護局長（写真前列中央）ら厚生労働省の方々も見学に来られ、土屋理事長との懇談会も開催されました

新制度であるため、先駆的な事例が少なく、未知の課題も多く存在します。しかし、連携推進法人設立のトップランナーとして、試行錯誤を重ねながら法人の経営基盤をさらに強化していきたいと考えています。

活動の詳細については、連携推進法人の公式ホームページやX（旧Twitter）で、ご覧いただけます。

共栄会WEB



共栄会X



社会福祉連携推進法人

共栄会通信

『社会福祉連携推進 シンポジウムが新聞に掲載』

「水野常務理事が登壇、広がる活動の信頼と認知」

前号でお知らせし、今年11月13日号）に掲載されていますが、11月6日（水）に開催された「社会福祉連携推進シンポジウム」が、「東京新聞」（令和6年11月23日号）と「週刊高齢者住宅新聞」（令和6

年11月23日号）と「週刊高齢者住宅新聞」（令和6年11月23日号）に掲載されました。

このシンポジウムでは、当法人の会長付き特別補佐兼スーパーバイザーである一誠会の水野常務理事が、パネラーとして登壇しました。



「職員ボウリング大会」で準優勝！ 交流と絆を深めた職員たち

去る10月18日（金）、八王子市東浅川町の高尾スターレーンで行われた八王子施設長会主催の「第27回 職員ボウリング大会」において、第二偕楽園ホームが一誠会として初めて準優勝という好成績を収めました。

この大会は職員同士の親睦を深めるとともに、他施設との交流の場としても重要です。

参加者はお互いの絆を強め、日頃の業務では得られない貴重なつながりを作ることができました。



大会前には4人で練習にも足を運びました～準優勝おめでとうございます。職員の団結と努力が実を結びました～



新聞掲載は、活動の信頼性を高め、広く社会に認知を広げる効果があり、専門性や先進性を示すことにもつながります（上段が「東京新聞」、下段が「高齢者住宅新聞」）

地域貢献について

年間を通じて、中野自治会との交流や夏祭りへの参加を行い、地域との交流の場を積極的に設けています。その結果、中野団地内での一誠会の知名度も徐々に向上しています。

また、入り口から玄関までの雰囲気や風通しを良くしたことで、どなたでも気軽に事業所内に入ることができ、世間話や介護に関する知識についても気軽に相談できる環境づくりに努めています。

さらに、年に2回、社会福祉法人SHIPさんと提携してパン販売を行い、地域の方々に参加していただいています。このパン販売は非常に好評で、多くの方が好みのパンを購入し、たくさんの笑顔や「これが楽しみなの」といったうれしいお言葉をいただいています。

これからも、地域コミュニティの形成や地域の方々とのつながりを一層深めていきたいと考えています。



地域にお住まいの方に、毎月作成していただき、ご利用者にも好評です



外出レクリエーションで、神奈川県相模原市の紫陽花公園に遊びに行きました。綺麗に咲き誇り、ご利用者も大変喜ばれておりました

トップリレー



仕事のやりがい



社会福祉法人 一誠会
偕楽園ホーム
施設長
鷹野 賢一

介護施設の倒産が2024年1月から3月に51件と、前年同期比45.7%増で過去最多を更新したとの報道がありました。

この背景には、新型コロナウイルスの影響によるコスト増加や人手不足が原因とされ、今後倒産リスクが高まると見られています。

一誠会の各事業も基準人員は満たしているものの、人材が潤沢とは言えない状況です。

どの産業でも人手不足は大きな課題であり、介護業界も例外ではありません。

ません。

事業を継続するには、人材確保や離職防止が重要で、介護の仕事をもつていく必要があります。

介護は賃金が改善され、安定した仕事であり、答えが一つではないケアを創造・実践するやりがいがあります。

また、さまざまな感情に触れ、楽しさや喜び、怒りといった感情を大切にできる点も魅力です。

このやりがいを力に、課題を乗り越えていきたいと思っています。

Green Days



社会福祉法人一誠会 広報誌
『グリーン・デイズ』2025.1 Vol.129

Contents

02 特集

東京都初～社会福祉連携推進法人設立から2年：地域福祉の新たな挑戦～
～3法人の連携で収益7%向上！経営基盤強化とサービス向上への挑戦～

03

「職員米クッキング大会」で準備！交流と絆を深めた職員たち
社会福祉連携推進法人

04 トップリレー

社会福祉法人 一誠会
偕楽園ホーム 施設長
鷹野 賢一

05 from 八王子市高齢者在宅サービスセンター 中野
05 Column ①・②

偕楽園ホーム

06 from 特別養護老人ホーム
07 from 居宅介護支援事業所

初音の杜

08 from デイサービス
09 from グループホーム

第二偕楽園ホーム

10 from 地域密着型特別養護老人ホーム
短期入所生活介護事業所
11 from 看護小規模多機能型居宅介護事業所
12 from 企業主導型保育所いろいろくん

13 八王子市高齢者あんしんセンター 大和田
地域公益活動／苦情の窓

14 ご寄付・ボランティアのご紹介
私のボランティア活動
管理栄養士のお食事レシピ

15 介護の相談箱／編集後記

16 ロコの部屋／職員紹介～注目の人～
イベントスケジュール
地域交流会・地域福祉研修の開催

発行／社会福祉法人 一誠会

〒192-0005 東京都八王子市宮下町983番地
TEL：(偕楽園ホーム) 042-691-2830

(初音の杜) 042-691-8289

(第二偕楽園ホーム) 042-691-0913

(高齢者あんしん相談センター大和田) 042-649-3280

Column ①

法人監査



法人運営や会計管理など
約1日かけての实地指導
になりました

去る12月10日(火)に、一誠会法人本部にて八王子市指導監査課による法人監査が行われました。

指導監査課の職員5名が来園され、運営と会計について資料の確認やヒアリングがあり、理事会など役員会が適正に行われているかなどの点検がありました。

Column ②

第2回 地域福祉研修



高齢者虐待は介護業界における懸念事項の一つでもあり日々意識しながら予防していく必要があります

去る12月5日(木)、地域福祉研修を開催しました。

今回のテーマは虐待予防で、講師はプロフェッショナルワークス代表取締役島田孝一先生をお迎えしました。

他法人の事業所の介護職員や社会福祉連携推進法人の職員などリモートでも聴講できる研修でした。

from

偕楽園ホーム 居宅介護支援事業所

ご利用者の生活状況を把握し適切な支援計画を立てるため定期的に自宅を訪問します



一誠会には、偕楽園ホームと北野事業所に合計4名のケアマネジャーが在籍しています。

ケアマネジャーの主な業務は、ご利用者の皆さまからの相談に応じて必要な介護保険サービスや関連する福祉・医療・保健サービス

ケアマネジメント業務の実際

一誠会には、偕楽園ホームと北野事業所に合計4名のケアマネジャーが在籍しています。

よく利用される介護保険サービスとしては、デイサービス、訪問介護、ショートステイ、福祉用具（手すりや杖、介護ベッドなど）が挙げられます。

また、こうした在宅サービスだけでなく、特別養護老人ホームなどの施設入所に関するご相談にも対応しています。

近年よせられる相談の特徴としては、認知症や精神疾患を持つ方の在宅支援、重介護者（寝たきり状態の方）、さらにターミナルケアを希望される方が増えてき



関係各所と連携し、サービスを調整します

にいる点が挙げられます。

そのため、医師や看護師、病院の相談員など、医療関係者とも連携する機会が大幅に増えていきます。

皆さまが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、今後も関係機関と密接に連携し、チームアプローチを通じてケアマネジメント業務に引き続き取り組んでいきたいと思っています。

from

偕楽園ホーム 特別養護老人ホーム



選択肢があることで、自分の意思で決める日常の中の行動は、ささいな楽しみとなります

選択できることを支援する

介護が必要な状態であってもその人らしく自分の考えをいうことができたり選択できることは大切です



自分が納得し、自分らしい生活を送るには自己選択と自己決定することは大切です

特別養護老人ホームは、原則要介護3以上の方が入所されています。

その中で、自分で決めることや選択できること、自己決定の機会を支援することは大切です。意思決定の支援については、厚生労働省の意思決定支援ガイドラインにも原則が挙げられており、本人の意思を尊重すること、本人の意

思決定能力に配慮すること、周囲の人々がチームとして意思決定を支援していくことが重要とされています。

偕楽園ホームでは、日常生活の中で、食事を自分で選べる選択食やおやつバイキングを導入し、自動販売機でほしいものを選ぶなど、身近なことからご利用者が選択できる支援を行っています。

また、社会参加の一環として、不在者投票の機会を設けています。この投票方法は、選挙の当日に投票所で投票できない方が利用できる制度です。

このように、介護を必要としていても、自分で考え決定する機会を支援することで、本人の気持ちや考えを尊重することにつながっています。

【偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護】利用者募集中!

1カ月あたり定額で利用できるサービスです。介護職や看護師などによる定期的な訪問と随時の訪問を組み合わせ、24時間在宅で生活できることを支援するために必要なサービスを提供します。

◎訪問範囲：包括圏域の左入、石川、大和田、川口、中野まで伺います

◎対象となる方：要介護1以上

㊤ 社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム

〒192-0005 八王子市宮下町983番地

TEL 042-659-3366 FAX 042-691-8288 担当：安部、遠藤

ご利用料金（1カ月単位の定額制です）

定期巡回・訪問介護費（1割負担の場合）

要介護度	介護保険費用	利用者負担
要介護1	62,952円	6,295円
要介護2	112,357円	11,236円
要介護3	186,558円	18,656円
要介護4	235,995円	23,600円
要介護5	285,411円	28,541円

※自己負担割合は、所得に応じて1～3割と異なります。

認知症状に応じた支援とMMSEの活用 家事活動支援で元気ある生活をサポート

一誠会では、様々な認知症ケアの取り組みを行っています。
ここでは、初音の杜のグループホームが行っている取り組みをご紹介します。



MMSE (ミニメンタルステート) 検査用紙

認知症の進行には個人差があります。
グループホーム初音の杜では、変化する認知症状に応じた家事活動を支援するために、MMSE (ミニメンタルステート検査) を3カ月に1回実施しています。

MMSE (ミニメンタルステート検査) とは

MMSE (ミニメンタルステート検査) は、認知症の疑いがある場合や進行状況を調



台所仕事は毎日の日課になっています

べる際に行う神経心理検査です。
この検査では、認知機能の低下を点数で客観的に計測することができ、世界各国で広く用いられています。
検査は対面で行い、0点から30点までのスコアで評価します。点数が低いほど認知機能の低下が進んでいることが分かります。

症状に応じた家事活動の支援



皆さんで行うことで意欲を引き出されることもあります

認知機能の低下が見られると、これまでできていたことができなくなり、不安ややる気の喪失を引き起こし、さらに認知症が進行してしまうことがあります。
そのため、検査結果や日々の行動を細かく観察し、認知機能に適した家事支援を提供しています。
支援を継続することで、利用者の方が日々楽しく、元気ある生活を送れるよう取り組んでいます。

法人内で新しいデイサービスの運営が開始



花まつり 看板の前で記念撮影

誠会では、令和6年4月より「八王子市高齢者在宅サービスセンター中野」の運営を開始しました。この施設は、デイサービスセンター初音の杜（主な3事業と同様に30名の定員での運営となります）。

開設から20年の歴史を持つこの施設で培われたノウハウを学び、施設運営に活かしたいと考えています。また、切磋琢磨しながら、より良い介護サービスの提供を目指し、協力関係を築いていきたいと思っています。

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野との交流



風船バレー大会 見事優勝



夏祭り かき氷で「涼」を感じて

八王子市高齢者在宅サービスセンター中野には、デイサービスセンター初音の杜の職員が異動したこともあり、レクリエーションや催しを通じて、ご利用者や職員の交流を深められないかという話がありました。
4月に開催された「花まつり」では、初音の杜のご利用者と遊びに訪れ、エンタランスロピの広々とした造りを見て「ホテルかと思いました」という感想が聞かれました。
6月には交流レクリエーションとして「風船バレー大会」を企画しました。初音の杜のご利用者6名が参加し、見事優勝することができました。
8月に開催された「夏祭り」では、模擬店での飲食やお菓子のつかみ取り、カラオケを楽しみ、大変賑やかなひとときを過ごしました。

看護小規模多機能型居宅介護 医療行為が必要でも安心して利用できる事業所づくり



医療的ニーズを抱えていても、こんなに元気にパン食い競争ができるんです！



喀痰吸引・栄養注入シミュレータ。有能ですが、少しコワイ…



喀痰吸引研修の一コマ。学ぶ視線にも力がこもります

看護小規模多機能型居宅介護事業所には、認知症や退院直後のご利用者、在宅生活へのスムーズな移行を取り期や病状不安定期における在宅生活の継続など、高い介護・医療的ニーズを抱えるご利用者が増えています。

認知症・医療的ケアに 長けた介護人材の育成

こうした背景から、第二偕楽園ホームでは、認知症

や医療的ケアに対応可能な専門性の高い介護人材の育成に力を注いでおります。

全介護職員を対象に認知症介護基礎研修の受講を推進し、認知症ケアに必要な知識と技術を身につけることを目指しています。

また、夜勤従事者には喀痰吸引研修の受講・修了を奨励し、医師の指示や看護師との緊密な連携のもとで、介護職員が「たんの吸引」や「経管栄養」の対応を安

全に行える体制を整えています。

「住み慣れた地域で生活を続けたい」を支える

「退院直後でその後の生活が不安」「重い病を抱えているが、住み慣れた地域で生活を続けたい」という方は、ぜひ第二偕楽園ホームにご相談ください。

慣れ親しまれた地域での、安心した暮らしをお支えるお手伝いをさせていただきます。

第二偕楽園ホームで築く安心の生活



お父さん、いつも見守っていてくれてありがとうございます！私は今日も元気です



成人式の前撮りに来たお孫さんと、ハイチーズ！

第

二偕楽園ホームは、地域密着型特別養護老人ホーム（以下特養）です。

地域密着型特養とは、定員が29人以下で、原則として施設がある市区町村に居住している要介護3以上の方が利用できる施設です。少人数制のため家庭的で明るい雰囲気であり、入所者の居住地を限定し、地域や家族との結びつきを重視している点が特徴です。とはいえ、住み慣れた家を離れて特養に入所することは、本人にも家族にも大きな決断

が必要です。第二偕楽園ホームでは、入所後もできる限り元の生活スタイルを維持できるよう、ご家族の協力を仰ぎながら居室環境の整備に力を入れていきます。仏壇を持ち込んで毎朝手を合わせる方もいらっしゃいます。また、ご家族の面会が多いのも地域密着型ならではの強みです。

短期入所 生活介護事業所

独居で頑張る。 でも時には息抜きも必要。

ショートステイには、さまざまな方がご利用されています。同居のご家族のレスパイト（休息）や用事がある際の利用、もちろん独居の方も利用されています。独居の方は、普段ヘルパーや近所に住むご家族の援助、配食サービスなどを利用しながら、住み慣れた家での生活を続けていらっしゃいます。しかし、時にはショートステイを利用して息抜きをすることも大切です。

馴染みの方とおしゃべりや施設のイベントへの参加を通じて鋭気を養い、在宅生活をより良く続ける糧にしてください。



お祭りで食べる焼きそばは美味しい♪

【訪問看護ステーション】正看護師/理学・作業療法士募集中！

1日4件程度の余裕のある訪問で心を大切にしたりハピリをしませんか。当事業所には保育園もあり、小さなお子さんのいる職員も多数在籍。一緒にお仕事ができる仲間を募集しています。

☎ 社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム 訪問看護ステーション
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1867 FAX 042-691-1870 担当：山口



2ヶ所目のオレンジカフェ「ハートフルカフェ」が始まりました！

「ハートフルカフェ」は、圏域の薬局「ハートフルファーマシー」の協力のもと、3か月に1回、薬局の待合室をアレンジして開催しています。

「オレンジカフェ」とは、認知症の方やそのご家族、地域住民、認知症サポーター、医療・福祉の専門職など、誰もがフラットな関係で集える場を指します。

初回の9月には、訪問看護認定看護師による認知症に関する講話と、ご自宅でできる簡単な体操を行いました。

第2回の12月には、参加者とハンドベルでクリスマスソングを奏でたり、フレイルチェックやその予防について学ぶ時間を設けました。

お茶を飲みながら、気軽に相談や会話ができ、様々なイベントを通して、認知症を我がこととして“認めて知ってもらおう”地域の居場所を目指しています。



開放的で、気軽に立ち寄れる雰囲気のできる場所です



認知症サポーターのサポートもあり、思いついた話や体操でリラックス

地域公益活動

第8回 地域交流会

去る12月14日(土)、第8回地域交流会を開催しました。

テーマは、八王子市文化財課(郷土資料館)による「はるかなる八王子～八王子の歴史～」で、興味深い講演をいただきました。

地域の方々にもご参加いただき、縄文時代から戦国時代までの八王子の歴史を学ぶ貴重な機会となりました。王子市の出前講座をお願いしました



介護や医療だけでなく、教養を育む八王子市の出前講座をお願いしました

苦情の窓

広報誌 Green Days

地域の方からのご意見

地域の方から前号の新型コロナワクチン接種に関する記事についてご意見をいただきました。「コロナワクチンについて否定的な情報が増え、高齢者に選択肢がないまま接種が進められている現状に疑問を感じます。国の助成金が目的なのか分かりませんが、高齢者が気の毒です。高齢者を守ってほしいと思ってお電話しました」とのお声でした。

一誠会では、厚労省の推奨に基づき、ワクチン接種を行っています。接種にあたっては、ご本人やご家族の意向を確認し進めております。介護現場では、感染拡大を防ぎ、ご利用者の健康を守るために実施しております。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



～地域のみなさまと一緒に 未来を担う子どもたちを～



第二偕楽園ホームと隣接の貸農園を借りて、みんなで野菜栽培に挑戦します



子ども達や施設の利用者、そして地域の方々と一緒に収穫祭ができるよう楽しみにしています



野菜づくり素人の職員たちも地域の方の力を借りて、大収穫を目指して猛勉強中です

令和7年1月から、第二偕楽園ホームの駐車場に隣接する貸農園を借りることになりました。

今から収穫祭が 楽しみです！

これまでも保育所前の小さな畑で野菜を栽培し、給食で食べるなどの食育活動を行っていましたが、このたび農園管理の方からお声掛けいただき、第二偕楽園ホームとして園児と施設利用者が一緒に野菜栽培に挑戦することになりました。

野菜作りの知識はありませんが、職員全員で猛勉強中です。まずは地域の方のご厚意でいただいた「いちご」の苗を植え、子どもたちが利用者とともに「いちご狩り」を楽しむ姿が目に見えます。夢は大きく膨らみ、地域の方にも参加していただける収穫祭の企画も進めています。

日常のふれあいが 子どもたちを育てます

少人数の家庭的なスペースで、一人一人に丁寧に関

わることができる環境や、専門資格を持つ保育士によるリトミック、高齢者との日常交流が「かいらくえん」の特徴です。さらに、相手の思いに寄り添う「優しい心」を培うことができる点も大きな魅力です。

こうした日々のふれあいは、その後の成長に大きな影響を与えます。貸農園を活用した取り組みを通じ、新たなコミュニティを育みながら、地域に根差した保育所を目指していきます。



園児募集中

0歳から2歳

介護・医療従事者の定型的な勤務体系にも対応し、土曜保育(要相談)、1日4～5時間、週2～3日といった短時間の受け入れも可能。ご相談受け付けます。

産休明け～満1歳未満	8:30～16:00	※保護者の勤務時間による
満1歳以上	7:30～18:30	

アレルギー・障害児保育：応相談
延長保育 18:30～20:30：要相談(別途料金がかかります)

社会福祉法人一誠会 企業主導型保育所かいらくえん
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL 042-691-1868 メール: holku@kairakuenhome.or.jp

介護の相談箱

シルバーピア中野



Q シルバーピア（高齢者集合住宅）とは？

A シルバーピアは、東京都内にお住まいで住宅に困っている高齢者を対象とした、東京都または都内の市区町村が運営する公的な集合住宅です。

住み慣れた地域で暮らし続けられることや、一般の賃貸住宅に比べて比較的安価な家賃で利用できるのが特徴です。また、生活援助員が常駐しているため、困りごとがある際にも相談しやすく、高齢者の安心した生活を支える仕組みとなっています。

一誠会では、令和6年4月より「八王子市高齢者集合住宅生活援助員派遣業務」を八王子市から受託し、生活援助員を派遣して高齢者の暮らしを支える取り組みを行っています。

※ 広報委員会では、皆様から事業所や記事に関するご意見、ご質問をFAXかメールで募集しています。FAX:042-691-8288 メール:info@kairakuenhome.or.jp

【サービス付き高齢者向け住宅 第二偕楽園ホーム】



月額費用：11万7,540円/月 敷金、礼金は不要です。
（家賃6万円、共益費3万0,540円、支援費2万7,000円）別途食費5万3,400円
部屋数：12室（全室個室 各18.63㎡）
居室設備：洗面、トイレ、収納、エアコン、ナースコール、スプリンクラー
入居要件：60歳以上の高齢者、要介護認定を受けた60歳未満の方
※介護サービスを受けられる場合には別途料金が発生します。

入居者募集中

サービス付き高齢者向け住宅は、高齢者が安心して暮らせるよう配慮された住環境と安否確認・生活相談といったサービスが付いたバリアフリー構造の高齢者住宅です。

詳細は、ホームページをご覧ください。下記お問い合わせまでご連絡ください。

【お問い合わせ】
社会福祉法人一誠会 第二偕楽園ホーム
〒192-0004 八王子市加住町1丁目18番地
TEL:042-691-1866 FAX:042-691-1870
担当：高橋

Green Days

グリーンデイズ Vol.129

発行：社会福祉法人一誠会
発行日：2025年1月15日
発行人：鈴木康之
編集人：鷹野賢一
住所：東京都八王子市宮下町983番地

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2025年、干支は乙巳（きのとみ）。「巳」は再生と変化の象徴でもあります。私個人としては、実の弟を失う喪中の年となりますが、その悲しみを胸に刻みながら、新たな希望と共に歩んでいきたいと考えています。

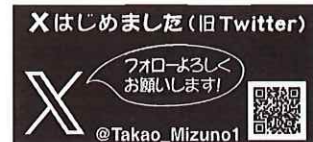
また、今年は「団塊の世代」が75歳以上となることで注目される「2025年問題」に直面する年でもあります。

地域や社会全体で支え合い、未来への持続可能な仕組みを築く大切さが、ますます問われることでしょう。

変化の年を迎え、一人ひとりが力を合わせることで新たな道を切り開き、再生と成長の象徴となる1年を目指してまいりたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人一誠会 常務理事 水野敬生



ボランティア活動
一誠会では、ボランティア活動をしていただく皆様が生きていく中で、育成の機会を設けています。
このたび、令和7年2月27日（木）にボランティア連絡会を開催します。
連絡会はボランティア活動



令和元年に開催した連絡会の様子で認知症サポーター養成講座を行いました

動に必要な基本的な知識や初歩的な理解を深めていただける内容となっています。
ボランティア活動に興味のある方も含め、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

御礼（10月1日～11月30日）

ボランティアのご紹介

天原孝子 雨宮千代野 藤川加代子 伊藤淑子 伊藤玲子 稲垣理恵 橋本世里子
久保田孝子 太田孝子 岡部孝子 小形和子 小倉孝子 小倉孝子 小倉孝子 小倉孝子
佐藤孝子 佐藤孝子 佐藤孝子 佐藤孝子 佐藤孝子 佐藤孝子 佐藤孝子 佐藤孝子
三浦孝子 三浦孝子 三浦孝子 三浦孝子 三浦孝子 三浦孝子 三浦孝子 三浦孝子
山口孝子 山口孝子 山口孝子 山口孝子 山口孝子 山口孝子 山口孝子 山口孝子
松本孝子 松本孝子 松本孝子 松本孝子 松本孝子 松本孝子 松本孝子 松本孝子
渡辺孝子 渡辺孝子 渡辺孝子 渡辺孝子 渡辺孝子 渡辺孝子 渡辺孝子 渡辺孝子

ご寄付のご紹介

海老原ヨシエ 平出肇
敬称は省略させていただきます。

管理栄養士のお食事レシピ



チリリゾットパイ包み

寒い時期になると温かいスープが恋しくなります。スープをパイで包むことで食べるワクワク感を演出し、具材にオクラを加えることで自然なトロミが付き、食べやすい一品に仕上げました。

<作り方>

- ① 玉ねぎ、パプリカはみじん切り、オクラは輪切りにします。
- ② 鍋に水、トマト缶、玉ねぎ、鶏肉を入れ、玉ねぎが柔らかくなるまで煮ます。
- ③ ②にコンソメ、ご飯、オクラを入れ、味をなじませます。お好みでチリパウダーを加えます。
- ④ 耐熱容器に③を入れ、チーズをのせ、パイシートで包みます。*卵黄を塗ると焼き色がきれいに仕上がります。
- ⑤ 200℃のオーブンで10分焼けば完成です！

<材料/2人分>
鶏小間肉 80g、玉ねぎ 1/4個、
パプリカ 1/4個、オクラ 3本、
水 200cc、トマト缶 200cc、ご飯
100g、チーズ 20g、コンソメ 5g、
チリパウダー（お好みで）適量、
パイシート 2枚（300g）

